

trivia ■ 皮膚科のトリビア ■ 155

本欄は、浅井皮膚科クリニックのホームページに連載されている「皮膚科のトリビア」を紹介させていただくものです。学会・研究会などで聞きしたことをその都度まとめ、連載されています。ご意見等ございましたら、ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

妊娠中に水痘に罹患すると 児はどうか

神奈川県皮膚科医会第153回例会から（平成29年3月5日）

妊娠中に水痘に罹患すると、胎児ないし生まれてくる子どもはどうかのまとめ。妊娠20週までだと、流産や先天性水痘症候群になるおそれがある。妊娠中期だと、生まれてくる児が乳児期早期で帯状疱疹を発症する。分娩5日前から分娩直前だと、児が重症の水痘を新生児期に発症する。ちなみに、妊婦が水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）に初感染する頻度は1,000人に1人でまれ。先天性水痘症候群（CVS）は水痘罹患妊婦から2%の頻度で発症。症状は発達遅滞を伴う種々の神経障害、頭頸部や四肢軀幹の片側性の萎縮性癰痕などの多発先天奇形である。「妊娠中期に罹患すると、児が胎内でVZVに感染し、VZVは脊髄神経節に潜伏し、母体からの移行抗体が児の血清中から消失し始める生後4カ月前後から帯状疱疹を発症するという機序が考えられている」。

VZVのCF抗体が高い人は 痛みが強い

神奈川県皮膚科医会第153回例会から（平成29年3月5日）

VZVに対する抗体は帯状疱疹の痛みに関与する脳由来神経栄養因子（BDNF）と同様の作用があり、さらにVZVの抗体はBDNF

の作用を増強することも知られている。VZVの抗体（IE-62）をマウスに投与すると痛覚過敏を生じることから、産生されたVZVに対する抗体によりBDNFの働きが高まり、痛覚に関連する脊髄の神経細胞を活性化させ、痛みが生じることがわかった。CF抗体価と痛みには関連があり、発疹を生じない痛みだけの帯状疱疹の患者でも、CF抗体価は16倍ぐらいに上昇することが多い。

「片側性の痛みだけで来院する患者の対応には迷うことがあり、抗ウイルス薬の内服を見切り発車するか様子を見るかは、患者に選択してもらうことが多い。CFも含めて抗体の変動はみておく必要があると思うが、発疹が出なかった帯状疱疹と確定診断できたことはないような気がする」。

パレコウイルス感染症と 掌蹠の紅斑

神奈川県皮膚科医会第153回例会から（平成29年3月5日）

ヒトパレコウイルス（HPeV）はエンテロウイルスやライノウイルスと同じピコルナウイルス科に分類されるウイルスで、1～16型の血清型/遺伝子型が報告されており、中でもHPeV-1～8型に関する報告が多い。HPeV-1, 2, 4～8は軽度の胃腸炎症状や上気道炎症状を呈するが、不顕性感染も多く、学童期の抗体保有率は80%を超えるとされている。その一方で、HPeV-3は生後3カ月未満の新生児・早期乳児のsepsis-like syndromeや脳炎の原因

トリビア (trivia) = 3を意味するtriと十道を意味するviaでもとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったことから「どこにもある場所」。そこから転じて「瑣末なこと」となり、今では雑学的知識、豆知識、などを意味する言葉として定着している。

浅井俊弥

Asai, Toshiya

浅井皮膚科クリニック

(〒240-0013 横浜市保土ヶ谷区帷子町1-14)

ホームページアドレス：

<http://www.asai-hifuka.com>

となり、重症化することもあり、2014年以降、増加傾向である。典型的な症例は、高熱、頻脈、末梢循環不全で発症し、80%の症例で掌蹠に一過性の紅斑を伴う。紅斑は熱発後1～5日後に生じ、2～7日後に消失する。白血球数やCRPなどの炎症マーカーは正常範囲内であることが多い。

「知らなかった。HPEV-3を皮膚科でみることはなさそうだが、掌蹠の紅斑で来院した小児に、軽症の胃腸炎や上気道炎を伴っていたら、疑わなくてはならない感染症なのかも知れないと思った。ちなみに検査はリアルタイムPCR法による微生物迅速診断しかないうだ」。

ときに認められ、上胸部、上背部に強い。Stage II (2～4日)：頬部、前腕、下腿に紅斑性丘疹が次第に増強する。軀幹の丘疹は消褪傾向となる。Stage III (3～5日)：四肢の発疹が消褪し始めるが、顔の引き方は比較的遅い。Stage IV (4～8日)：顔の紅斑、丘疹も消褪していく。臨床検査成績では白血球減少を病初期に認めることが多い。

「砂かぶれ様皮膚炎と同様に忘れ去られた疾患。ジアノッティーにも似ているが、経過はもっと短いようだ。これまでみてきたかも知れないが、Echo16に注目したことはないの、今後検討してみたい」。

Echo16ウイルスによる Boston exanthema

神奈川県皮膚科医会第153回例会から (平成29年3月5日)

Boston exanthemaはEcho16ウイルスによる感染症で、本邦では1984年に岐阜県の笠原町で集団発生し、その詳細が報告されている。発熱が初発症状で、38～39℃がもっとも多いが、ときに39～40℃に及ぶ例もある。熱発後2～3日経過して解熱するところになり、発疹が出現する。発疹は突発性発疹に類似し、以下のような経過をたどる。Stage I (1～3日)：頬部に対称的に、または顔と四肢に丘疹を伴う紅斑が生じる。紅斑のみまたは数個の比較的大きい丘疹のみで、四肢は伸側に多い。軀幹には細かい丘疹が

パスキン3本針を用いた皮内注射

第33回日本臨床皮膚科学会総会から (平成29年4月23日)

腋窩多汗症に対するボトックス、AGAに対するPRP(多血小板血漿)の局注に有用な医療材料の紹介。31Gと34Gがあり、針の根元がプラスチックのシールドで覆われているため、刺入の深さをそれぞれ1.5 mm, 2.5 mm, 3.5 mmから選択できる。腋窩多汗症には34Gの1.5 mmないし2.5 mm, AGAには31Gの3.5 mmがよい。刺入の深さが一定になることで、手技が簡単になり、疼痛も軽減できる。

「これは知らなかった。腋窩多汗症のボトックス皮内注射では、たまに深く刺さってしまうことを経験する。高そうだが、よさそうである。試してみよう」。